



亀中だより

No.31 令和4年11月18日 文責:岡田

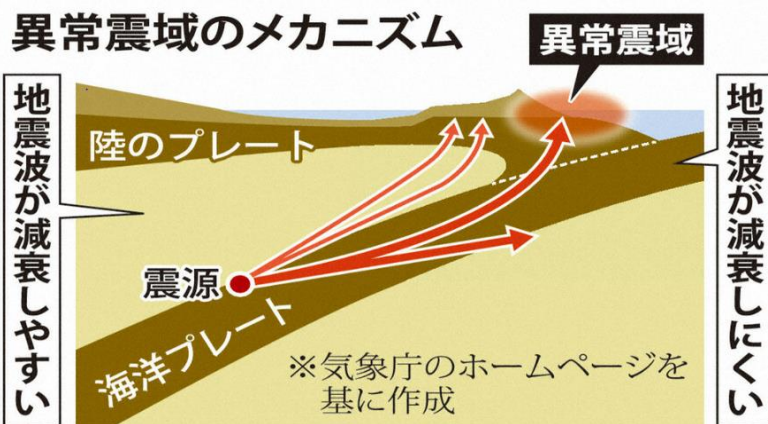


For The Students!

震源の真上が揺れない!地震の不思議

11月15日、6限終了後に避難訓練を行いました。事前に告知のない(11月中に実施するだけ伝えてありました)訓練でしたが、全校生徒が真剣な面持ちで、素早く、安全に避難を完了しました。訓練の前日は、あの「不思議な地震」があった日でした。三重県南東沖を震源地としながらも、震源の真上といってもいい三重県には揺れが発生せず、遠く離れた東北、関東などの地域で震度4を観測したところもあったというあの地震です。

異常震域のメカニズム



これは地下のとても深い場所で発生する地震(深発地震)で、年に数回起きている現象だそうです。深発地震が発生すると、震源に近い真上は、地震波が減衰しやすい領域を通るために揺れが弱まって伝わる一方で、太平洋側では、地震波が減衰しにくい海洋プレートを通るために、揺れがあまり弱まらずに伝わるのだそうです。その結果、震源に近い場所よりも遠く離れた太平洋側で震度が大きくなることもあり、このことを「異常震域」と呼ぶのだそうです。

正常性バイアス と 同調性バイアス

地震の不思議もさることながら、今回の地震、避難訓練で見えてきた“私”の課題は、避難行動への心理的な影響でした。実際に14日には学校の地震警戒装置は作動して、避難行動のアナウンスがなされました。しかしその時の私は校長室で電話中であり、翌日の訓練のためのテスト放送をしているのだろうと勝手に決めつけてしまったのです。つまり避難行動がとれませんでした。こうした背景には、災害時にあり得る「正常性バイアス」「同調性バイアス」も関係していると感じました。これらは下の図のように、自分に都合の悪い情報を「私は大丈夫」などと過小評価してしまう心理作用のことです。

自分への戒めも込めて、避難訓練時に全校にも話しましたが、「何をしなければならぬか、わかっている」だけではなく、「自ら決断して行動を開始する」その“初動の早さ”が大切だと確認をしました。これまでに人類が経験してきた災害においても「正常性バイアス」「同調性バイアス」が影響して、被害を拡大した例はたくさんあります。全校の安全を確保していくため、初心に帰り、取り組みを続けていきます。生徒のみなさんもいざという時の“初動態勢”について確認しておいてくださいね。

「正常性バイアス」

「自分は大丈夫だろう」
「たいしたことないだろう」
「今までも大丈夫だったし」



「同調性バイアス」

「みんなも非難してないし」
「みんなと同じなら安心」
「自分だけ避難するのは…」